

THE HEROES

注目ライダー直前インタビュー

Honda Dream Racing Bells

IA1 #1 大倉由揮選手

「まだまだ強くなりたい もちろん連覇を狙います!!」



ランキングトップのジェイ・ウィルソン選手が最終戦でクラッシュしてリタイア。その結果まさかの大逆転で初のチャンピオンに輝いた大倉選手。このオフはどう過ごしていたんですか?!

シーズン終了後はしばらくバイクを離れて、もちろんトレーニングは続けていましたが、本格的に乗り始めたのは年が明けてから。その後ヨーロッパに渡って、今年はスペインが拠点だったんですが、向こうのライダーと一緒にトレーニングして来ました。去年もヨーロッパでトレーニングやレースをしていましたよね。その目的は??

コースの難易度が高いと練習でも速いライダーが多くて、それが刺激になるしレベルアップを実感出来るので、チームにも協力してもらって可能な限りチャレンジしたいなと思ってるんです。ゼッケン1を背負ってもまだまだ力が足りない!

今年#1で走りますが、チャンピオンとかそんなに意識してないんです。もちろんリストに名前を刻めたことは素直に嬉しかったけど、実際レースの内容では優勝回数含めてジェイさんの方が圧倒的に上だったし、ここから何回取れるかが大事。そのためにももっと強くなりたいしならなきゃなって思ってるんです。チャンピオンになって身の回りで何か変わったことはありましたか?? 家を建てたとか高級車を買ったとか... (笑)。

うーん、何も変わってないですね。強いて挙げるなら (下田) 丈君と同じトレーナーさんと契約して、モニター越しにアドバイスをもらってます。

今年のシーズンはどんな展開を予想していますか??

チャンピオンを取りに行く。ネイションズにも出たい。自分自身はこれまでと変わらないと思ってます。日本で1番強いライダーとしてタイトルを守りたい。それだけです。

国別対抗戦ネイションズ、今年はフランスが舞台ですが...!?

去年のアメリカ大会が3度目の出場だったんですが、丈君の参加でより気合いが入ったし、派手な転倒もしたけど初めて予選を突破出来て、1~2回目と比べたら自分自身1番いい走りが出来たと思ってるし、成長を実感できたレースでした。もちろん今年も代表入りを狙っていきます。

大倉選手は大阪ですよね。全日本初開催のいなべについては??

近い様であまり交流はなくて1年に1回くらい走ったかなって感じです。地元の大城君や内田君が速いのは分かっているの、自分はここまでやって来たこと出し切るだけです。

大倉選手にとっては3月のシーズンスタートも初めてなのは??

先週のテストは寒くて大変でした。週末お客さんが快適に観戦出来るといいんですけど...。4月スタートでレース間隔を詰めて早く終わるとか、夏のインターバルを挟んで前期後期にするとか出来ないかなって思いますね。とは言えボクらは精一杯走るだけなので、熱く盛り上がるバトルを見せられるように精一杯頑張ります。今年からウェアがAlpinestarsになりました。マシンのグラフィックも大きく変わったのでゼッケン1を探して、今回IA1クラスは決勝3ヒート、ボクの走りに注目してください!!

全力で頑張る中部勢へ 熱い応援してだあこ !!

30年ぶりの中部大会って言われてますよね。全日本モトクロス選手権がシリーズ化されたのが60年代初頭...。ということは、長い歴史の半分近く、中部地区でのレースはお休みしていたこととなります。

ちなみに最後の大会が行われたのは1996年の開幕戦、会場は岐阜県の大垣市。当時の最高峰クラス IA250 ではジェブ・マセビッチ選手が1-1。日本人では現在 TEAM HAMMER を率いる高濱龍一郎監督が第1ヒートで2位。高木崇雅さんが3-2位で総合2位の成績を残しています。現役ライダーの大半がまだ生まれる前の話。でもモトクロスという競技は当時から今へと脈々と受け継がれ、中部地区からは大勢のトップライダーたちが育っています。

そんな訳で中部を代表するライダーと言えば IA1 の内田篤基選手 (#97/カワサキ) が静岡県浜松市、池谷優太選手 (#793/スズキ) が静岡県焼津市出身、道脇白龍選手 (#14/ホンダ) と道脇右京選手 (#54/ヤマハ) 兄弟は愛知県東海市。今回スポット参戦して来た元全日本チャンピオンの富田俊樹選手 (#317/ヤマハ) は石川県金沢市の出身。ちなみに'23IA2、'24~'25IA1クラスのチャンピオンジェイ・ウィルソン選手 (#2/ヤマハ) はオーストラリア出身ですが静岡県の森町に家を持つ日本大好き家族。総勢9名の地元ライダーが国内最高峰クラスで火花を散らします。

若手中心のIA2クラスでは、優勝候補の一人柳瀬大河選手 (#51/ホンダ) が愛知県豊明市、右のインタビューに登場頂いた福村鎌選手 (#53/スズキ) が名古屋港区在住。他にも5名の中部ライダーがエントリーしています。

レディースクラスは今回エントリー総数22名とちょっと寂しい状況ですが、そんな中で昨年ランキング2位の好成绩を残した箕浦未夢選手 (#2/ホンダ) が IA2 クラスに出場する弟の箕浦来輝選手 (#81/ホンダ) と共に愛知県瀬戸市からエントリー。このクラスには22名中7名が中部エリアのライダーたち。

誰もが地元での活躍を夢見て、気合い十分でスタートラインに着いているはず。公式プログラムで名前とゼッケン、出身地をチェックして地元ライダーには一際熱い応援をお願いします。

2026開幕! DIRT FREAK CUP 中部大会. Includes photos of riders and event details.

VOICE CONTROL

レース直前、注目ライダーからの一言メッセージ

IA1 #3 大城 魁之輔選手

なんか地元過ぎて全日本じゃない感じなんですよ(笑)。チャンピオンしか狙ってないし、海外トレーニングを含めてしっかりとそこに向けてのプロセスを踏んで来たつもり。中部の皆さんの前で、自信を持って臨みます!!

IA1 #23 ジラッジ・ワナラック選手

今シーズン全日本にフル参戦出来ることを嬉しく思っています。タイホンダとHRCの協力で事前テストでも調子が良かったし自分のベストコンディションに仕上げて来ました。頑張れ二もって応援してください!!

IA2 #51 柳瀬 大河選手

ちっちゃい頃からずっと走って誰より練習して来たコース。今年のいい体制も中部のみなさんの沢山の応援のおかげなので地元で恩返し出来るよう頑張ります!!

IA2 #66 古井 奎伍選手

愛知の大治町で育って4歳くらいの時にここの駐車場で初めてモトクロスバイクに乗ったんです! シングルフィニッシュを目標に全力で挑みます。レースが終わったらスポンサーしてくれているスーパーヨシズヤで、地元のお土産買って帰ってくださ~い!!

LMX #2 箕浦 未夢選手

地元だスポンサーであるダートフリークさんの冠大会出し正直かなりのプレッシャーかかっていますが得意だと思いつけるスタート決めて、地元での初V目指します!!

IA2 #63 石平 凌大

常に全力全開フルパワー!! YAMAHA YZ250F

IA2 #66 古井 奎伍

祝! 地元開催 漢になれ!! YAMAHA YZ250F

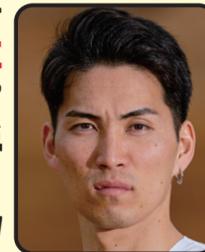
2026 SEASON CATCH UP

注目ライダー直前インタビュー

Team SBE

IA2 #53 福村 鎌選手

「初優勝への足がかりに まずは表彰台を狙ってます!!」



福村選手が今回1番この会場の近くに住んでるライダーなんじゃないかと?? 間違いなく地元ですよ??

そうですね。下道でも1時間かかるかからないくらい、高速使ったら30分で帰れちゃうので、普通は会場近くに宿泊するんですが、今回は土曜日の練習走行が終わったら1度家に帰って朝ご飯食べてから戻って来る予定。通勤参戦です (笑)。

イエローのマシンで孤軍奮闘する福村選手。去年は大変なシーズンでしたね。

そうですね。ずっと一緒にレースをして来た父が1月に交通事故で亡くなって、開幕直前までレースを続けるかどうか迷っていたし、バイクにも乗ってなかったんです。チームやたくさんの方々に支えてもらって続けることにはなったんですが、そんな状態で無理出来ななし、シーズンの中盤くらいに本調子に持って行ければいいなくらいの感じでした。

第3戦の関東大会で4位に。久しぶりの表彰台まで近づいた!?

自分でも1戦1戦調子が上がっているのを実感出来ていたんですが、肝心のチームの地元大会でやらかしてしまって。予選に続き決勝でも激しい転倒を喫してしまっ

練習走行ではトップタイムをマーク出来たのに、予選で転倒してしまいグリッドを下げてしまった。なんとか挽回しようとしたんですが、それが裏目に出てしまって、その後も完全にリズムを見失った感じでした。

新たなシーズンに向けてどんな準備を?

去年まではアルバイトをしながらの全日本参戦でしたが、シーズン途中からスズキでテストの仕事やらせてもらえるようになって、今は愛知と浜松を往来する生活。でも100%オートバイに専念出来る環境なので、テストや練習以外でもトレーニングに打ち込む事が出来ているし、今まで1番いいコンディションで開幕戦を迎えることが出来ました。

しかも地元でのシーズンスタート。このコースに関しては?

ジュニア65ccクラスから走ってますね。中部地区で本格的なコースってここくらいなので、毎週の様に通っていました。

それじゃ活躍を期待していいですね?

抜きどころの少ない難しいコースではあるんですが、地元での開幕は初めてだし、ここでしっかりと調子を確認することがシーズンを戦う上で大事なと思っています。

地元という意味では柳瀬大河選手が強いライバルになりそう!?

基本仲いいんですけどレースは別。表彰台も優勝も先を越されましたが、今回は五分の真っ勝負が出来てと思っています。

それじゃ地元ファンの皆さんにメッセージをお願いします。

ここいなべでは初めての全日本、ボクらは知らないけど中部での全日本は30年振り!? 今回IA1は3ヒート制だしレディースに加えてFMXもあるから、とにかく1日楽しんで欲しいですね。去年のことを思うと2ヒートをしっかりまとめて次に繋ぐのが大事だけど、今はとにかく調子がいいので、開幕から表彰台を狙っています。その流れを早い段階での勝利に繋げたい。地元のファンの皆さんにアピールできる走りを見せます。応援してください!!

from DIRT to DIRT (混んこ取材記) 「さて今年はどこへ行く!？」



モトクロスを見続けて50年!! 我ながら良くやって来たもんだと呆れてます (笑)。でも面白いんですよ。上の写真は去年の国別対抗戦モトクロス・オブ・ネイションズに出場した日本代表チーム。ご存知ない方はサッカーやラグビーのワールドカップや正に今開催中のWBCをイメージしてみてください。毎年10月の第一週末に行われるモトクロス界最大のイベントです。

昨年はアメリカ東部、インディアナポリスのちょっと西に位置するクロフォードのアイアンマンレースウェイというコースが舞台になりました。現在アメリカで大活躍中、鈴鹿市出身の下田丈選手がチームを牽引。ファインレースでは世界選手権のチャンピオンや全米チャンピオン、名だたるトップライダーたちを抑えてトップ走行を見せるなど、日本はもちろん世界のモトクロスファンを熱狂させてくれたのでした。

そして下の写真は、遥々駆けつけてくれた応援団。全部で20人近い日本人ファンが、世界中から集まったモトクロスファンたちと一緒に、歴史に残るレースの目撃者となったのでした。

今シーズンの全日本選手権は、今大会を皮切りに全9戦で行われます。次は九州熊本。7月には北海道でも開催されます。九州北海道はさすがに遠いですが、1番近いのが近畿大会で、会場の名阪スポーツランドはここからクルマで1時間ほどの距離。今回初めて全日本を観戦して、気になる選手が見つかった方、ぜひそのライダーを推して別の大会にも足を運んで見てください。会場が変われば全く異なる展開と感動が待ってます。

ちなみに今年のネイションズはフランスで開催されます。日本代表チームに誰が選考されるか、そこにも注目してもらえると嬉しいです。

ボク個人としては、IA2クラスのチャンピオン中島徹也選手や横山遥希選手が参戦するオーストラリア選手権にも行ってみたいなあなんて思ったり。さあ今年も忙しくなるぞ!!

MIXING & MC Square 木田 淑



PIRELLI logo and contact information.

YSP Yamaha Motorcycle Sports Plaza advertisement.

Advertisement for Yamaha YZ250F bikes.

Technix racing suspension advertisement.